

曾谷殿御返事

(成仏用心抄)

御書新版 1435頁 12行目〜13行目
御書全集 1056頁 13行目〜15行目

この法門を日蓮申す故に、忠言耳に逆らう道理なるが故に、流罪せられ、命にも及びしなり。しかれども、いまだこりず候。法華経は種のごとく、仏はうえてのごとく、衆生は田のごとくなり。

通解

この法門を日蓮が説くので、忠言は耳に逆らう” というのが道理であるから、流罪に処され、命の危険にも及んだのである。しかしながら、いまだ懲りてはいません。法華経は種のようにあり、仏は植え手のようであり、衆生は田のようである。

語句

忠言耳ちゆうげんみみに逆さからう

孔子こうしの言行げんこうなどを記しるした『孔子家語こうしけご』に「忠言耳ちゆうげんみみに逆さからう」とある。真心まごころからの忠告ちゆうこくの言葉ことばは、欠点けってんや過ちあやまを鋭く指摘すくしているゆえに、忠告ちゆうこくされた人は素直すなおに聞き入れにくい、という意い。